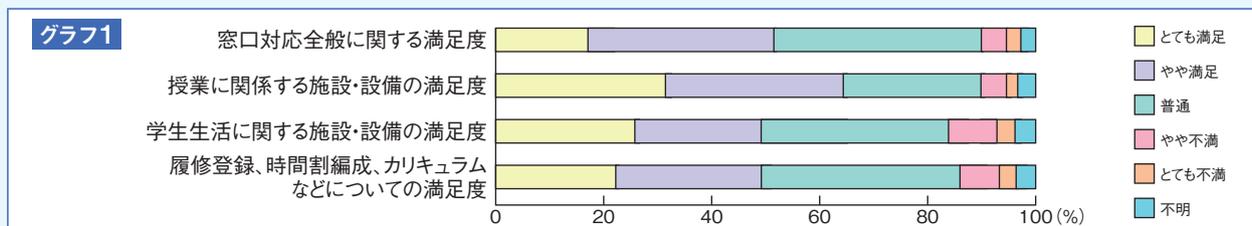


2011年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2011年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2012年1月7日から18日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスの授業内において教員から学生に直接配付し、授業欠席者、指定クラスを履修していない学生に対しては自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生のみならず、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,418名の内、3,109件のデータを回収することができ(回収率:約36.9%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は「**グラフ1**」の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2011年度の教育環境改善報告

窓口対応など

- 東日本大震災への対応に関して、学生の皆さんから様々な場面において理解と協力をいただきました。
- 「窓口対応スローガン」ならびに「窓口対応に関するガイドライン(行動基準)」を心がけ、前年度に引き続いてこれらを励行することで窓口対応レベルの引き上げ、均等化できるよう取り組んだほか、研修やOJTなどによるスキルアップを図りました。あわせて、これまで速やかな改善が図られなかった件に対して、より積極的に検討、改善することとしました。
- 学生向けWEBポータルサイト「PorTa(ぽると)」を導入し、学生の皆さんが大学に関する情報を効率的に取得できる環境を整備しました。

教育施設

- 東日本大震災に起因する計画停電や電気事業法27条に基づく電力使用制限令への対策、ならびに本学が従来から推進している「エコキャンパス・プロジェクト」への各種取組については、学生の皆さんから理解と協力をいただきました。
- 地震により使用不可となった施設(自習室)の代替地の確保に努めました。

学生生活施設

- 獨協大学同窓会からご協力をいただき、学内にコンビニエンスストア(セブンイレブン)を開店していただきました。
- 学生センター(別館)が竣工しました。
- 学内4箇所に喫煙ボックスを設置しました。
- 東棟、天野貞祐記念館、中央棟を結ぶ通路に屋根を設置しました。
- 地震により使用不可となった施設(部室、楽器庫など)の代替地の確保に努めました。

2. 2011年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

窓口対応について

「事務局自己点検評価委員会」にてアンケート結果の検証を行います。また、同時にスタッフ・ディベロップメント(SD)活動にも継続的に取り組み、職員の資質向上を目的とした研修等を実施します。

大学ポータルサイトについて

ポータルサイト(PorTa)に関してはシステムの安定強化と積極的な情報発信を行い、サービスや施設利用の充実につなげていきたいと思っております。

教育施設・学生生活施設について

4棟、5棟に関する改修は今後予定している西側新教室棟の建設をもって対処したいと考えています。

2011年度に行った節電に関する取組については多く意見をいただきました。その取組結果については2012年4月に検証作業を行い、今年

度も取組を継続することとなりました。今年度の取組に際しては電力会社の動向や猛暑、厳冬など天候の影響、ならびに、本学が推進している「エコキャンパス・プロジェクト」のあり方を考えていく一方、学生の学習環境、学内生活環境についても考えていきたいと思っております。

アリーナ、グラウンドについては、授業や部活動のない時間帯で自由な利用を求める意見、ならびに、効率的に利用できるような改善を求める意見が寄せられています。原因としては日程や時間帯によって、(授業、部活動、外部貸出など)取扱所管が異なることが、少なからず影響していると思っております。現在は関係所管による協議が行われていますが、学生の皆さんの意見にはできるだけ応えられるようにしたいと考えます。

学生食堂については昼食時の混雑(座席の占有を含む)、メニューの改善および店舗誘致について多くの意見をいただきました。これらは「食」に関する要望として、長年にわたり指摘されてきましたが、2012年秋に完成する学生センターに設けられる「学生ラウンジ」「多目的ホール」等による改善を見込んでいます。また、学生食堂内の空店舗についても現在、飲食企業を誘致しているところです。

部室棟については震災後の使用を原則的に禁止したことに対して、実際の活動場所、あるいは、用具等の保管場所の代替地を求める声が多く寄せられました。部室棟の代替地となる学生センター施設の内容は部室、合宿室、武道場、スタジオ、トレーニングルーム、更衣室、フリースペース、学生ラウンジ、多目的スペース、事務室などとなっています。

学外研修所について、2011年度は特に利用者の声が聞かれませんでした。新甲子セミナーハウスは福島県白河市に隣接していますが震災の被害は少なく、また、原発事故による被害は受けていません。

その他

トレーニングルームに関する意見、要望については、学生センターに一般学生の利用を主としたトレーニングルームを設け、35周年記念館のトレーニングルームは学友会団体の利用を主として運用する予定です。

喫煙マナーについても例年意見をいただいております。ここ数年、学生、教職員による分煙/パトロールや喫煙マナーの啓発活動に取り組んでまいりました。2012年度も活動を継続する予定です。学内における喫煙の可否については当面「完全分煙」の方向性が示されました。これに基づき喫煙場所を喫煙ボックス内に限定し、それ以外での場所は禁煙とする啓発活動を継続的に展開し、受動喫煙の防止に努めていきます。

最後に、芝生広場や学生センター別館、学生センターの利用については今後、本格的な運用が開始されますが、学生の皆さんからの意見や要望を随時取り入れながら、安全かつ効率的な運用を図ってきたいと思っております。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学友会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。